

C 19

1963年度夏作試験設計及び
営農指導計画書

1963

イタワア地区
指導農場

1963年度夏作試験設計及び営農指導計画書

1963年度夏作試験設計及び営農指導
計画書 1963 August

LIBRARY

国際協力事業団		
受入 月日	'84. 8. 21	708
		80.7
登録No.	13391	EM

回用

1963年度夏作試験設計及曾農指導計画書

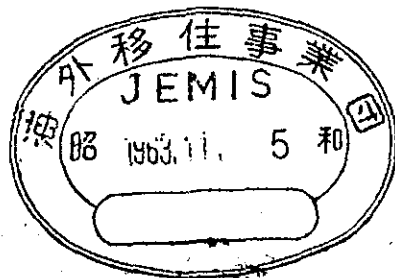
1963. August,

海外移住事業団 Itapua 地区指導農場

JICA LIBRARY



1034608181



柑橘類品種比較試験並に展示 (経緯)

1. 目的 各品種の特性、特に生育、耐寒性、品質、収量、貯蔵性、生産費等を調査し、適良品種を選定すると同時に市場調査の結果をまっして将来の産業構成作物たらしめる。

2. 供試品種

品種		栽植年	取寄先
A. 蜜柑類 (Mandarina)			
	Mandarina criollo	1962	STICA
	" escarlata	"	"
	" mexicana de papa	"	"
	" Quainar	"	"
	温州 " 12号 enjert	1963	"
温州	12号 (早生)	1962	フタ近畿
"	10号 (中生)	"	"
"	4号 (晩生)	"	"
B. 甜橙類 (Naranja)			
	Naranja natal	1962	STICA
	" calderon	"	"
	" Lue que gong	"	"
	" Bahia nisha	"	"
	" Washington	"	"
	" Valencia	"	"
	" Injertada	1963	"
	" Common	1962	フタ石橋
	" jaha	"	"
	" tarde	"	"
	" Ombligo	"	"
C. 雜柑類			
	Pomelo misay common seedless	1962	STICA
	" sin semilla	"	フタ石橋
	" criollo	"	"
夏蜜柑		"	フタ近畿

Limon sutil enjert	1963	STICA
" paterena	1962	"
" tipo sutil	1963	"
Kingkan cwn. kuat	1962	"
Naranja mandarina	"	79A 石橋

3. 供試面積及び供試株数

6 x 6 m 方形植
 各種 8株 (1962 年度植付本数 4 個体であったが '63 年度より 8 株とし、前年度も同本数に増植す。)

4. 栽植時期

適宜品種を蒐集するも大方 5~8 月に定植す。

家庭果樹の展示 (経緯)

1 目的: 自給自足体制を整へ、豊かな食生活を確保するために生食用及び加工用果樹を展示すると同時に特性を調査し、適宜品種を選定して移住者への配布に終する。

2. 供試種類及び品種

種類	品種	植栽年	取寄先
苹果	Mangana gravestein	1962	STICA
	" navidad	"	"
梨	Pera Leconte	"	"
	" francera	"	"
さんざし	Acerola	"	"
Aguacate	A. morija	"	コイト 森谷
	A. criollo	1963	STICA
梅	ciruelo verde japonesa	1962	STICA
びわ	Nispero	"	"
バナナ		"	"
野苺		"	ラッパ、清水川

ブドウ	Uva blanca	1963	STICA
	" Pasada	"	"
カリンジャー	Carya ovalta	"	"

3. 栽植方法

各品種 4株

4. 栽植巨畝

6m x 6m

5. 定植時期

前項と同じ

Tung 特性調査並に展示と種子配布 (新規)

1. 目的 諸種の生態系統があるも、その特性の判明したものは少ない、有望と認められる系統を蒐集展示し、その特性を調査して優良系統の種子配布を行う。

2. 供試系統及栽植年度

系統名	栽植年	取寄先
a. Lampton	1963年	STICA
b. Lonbell	"	"
c. La crosse	"	"
d. Gahl	"	"
e. Folsom	"	"
f. F-99	"	"
g. F-578	"	"
h. Florida	"	"
i. Petiso	"	"
j. Capitannesa 2号	"	Santa Rosa, Paraguay
k. Santa Rosa 3号	"	Capitannesa "
l. Media	"	Santa Rosa "
m. 蝦協1号 (小粒種)	"	Behlavista "
n. " 2号 (大粒種)	"	Capitannesa "
o. Rapashal 7号	"	" "
p. Media (STICA種)	"	Rapashal "
		Fuji "

- 9 大粒種
- 2 小粒種
- 5 中林 1号
- 6 中林 2号

1963.

Capitanmagna Paraguay

Argentina misiones 中林
Argentina misiones 中林

3 播種期

8月下旬

4 栽植巨離

8M x 8M

5 供試面積

1畝種 10 ~ 30a.

放牧用、刈取給食用及び被覆用牧草比較試験並に展示(経緯)

1. 今後用畜に期待するもの極めて大きく、同時に永年依経営上被覆作物の利用も重要とみられるので各用途別に適良品種を選定する。
2. 供試品種及び取寄先。

苜蓿牧草及び綠肥作物
品種

取寄先

栽植年

① *Trifolium*

Ladino clover (<i>T. repens</i>)	STICA	1962年
Wild white clover (")	"	"
Subterranean clover (<i>T. subterranean</i>)	"	"
Crimson clover (<i>T. incarnatum</i>)	"	"
Red clover (<i>T. pratense</i>)	"	"
" (在来種) (")	"	"

② *Melilotus*

Hubam sweet clover (<i>M. albus Hubam</i>)	STICA	1962年
--	-------	-------

③ *Alysicarpus*

Alyce clover (<i>A. vaginalis</i>)	STICA	1962年
— (A) —		

④	<i>Vicia</i>		
	Common vetch (<i>V. sativa</i>)	STICA	1962 年
	Hairy vetch (<i>V. villosa</i>)	"	"
	<i>Vicia obura</i>	"	"
⑤	<i>Vigna</i>		
	Cow pea (<i>V. sinensis</i>)	日本	
⑥	<i>Glycine</i>		
	Soja awyokoa (<i>Fonajera cubiorta verde</i> Rey 3520)	STICA	1962.
	<i>S. aloctan</i> (<i>Fonajera</i> Rey 3510)	"	"
	<i>S. 1-175/57</i> (<i>Fonajera tuerte rusevencia</i> Rey 3502)	"	"
	<i>S. perrene</i>	"	"
⑦	<i>Crotalaria</i>		
	Striped crotalaria (<i>C. striata</i>)	"	"
	<i>Crotalaria grantiaea</i>	"	"
	<i>Crotalaria lericea</i>	"	"
⑧	<i>Dolichos</i>		
	Sarawak bean, (<i>D. kosei</i>)	Daliria	1963.
	<i>Dolichos lablab</i>	STICA	1962.
⑨	<i>Medicago</i>		
	Alfalfa (<i>M. sativa</i>)	STICA	1962.
⑩	その他		
	<i>Centrosema</i> (<i>Centrosema pubescens</i>)	"	"
	<i>Mucuna</i> (<i>Mucuna ciniza</i>)	"	"
	<i>Calopogonium mucunoides</i>	"	"
	<i>Pesmodium capitatum</i>	"	"
	Common lespedeza (<i>Lespedeza striata</i>)	"	"
	<i>Sebania egyptica</i>	"	"
	<i>Glycine javanica</i>	"	"
	<i>Clonizium</i>	"	"

禾本科牧草

- ① Pennisetum
- | | | |
|---------------------------------------|-------|-------|
| Pennisetum ciliare | STICA | 1962. |
| Kikuyu grass (P. clandestinum) | " | " |
| Elephant hilrice grass (P. purpureum) | " | " |
| Elephant comun grass (") | " | " |
| Elephant merkeron grass (") | " | " |
| Elephant merkeri grass (") | " | " |
| Elephant merker grass (") | " | " |
- ② Sorghum:
- | | | |
|---------------------------|-------|-------|
| Sudan grass (S. vulgare) | STICA | 1962. |
| Sorghum lecke | " | " |
- ③ その他
- | | | |
|---------------------------------------|-------|------|
| Blue grama grass (Bouteloua gracilis) | STICA | 1962 |
| Dallis grass (Paspalum dilatatum) | " | " |
| Rhodes grass (Chloris gayana) | " | " |
| Pasto. rojas | " | " |
| Pasto ramirez | " | " |
| Pasto salina 284 | " | " |
| Pasto salina 604. | " | " |
| Pasto salina 603 | " | " |
| Pasto salina 605 | " | " |

3. 1区面積 2a宛

Ramie 適良品種選定試験 (経緯)

1. 目的 前年度植付した品種の第2年目の品質、収量を調査し適良品種を選定す。
2. 供試品種

東織1号	同2号
------	-----
3. 栽植巨藨

各品種とも	(i) 1.0 x 0.5 m.	(ii) 1.0 x 1.0 m.
-------	------------------	-------------------

4. 供試面積及び区制

0.6a 2区制

棉適良品種選定試験 (新規)

1. 目的 当地の栽培品種は撮綿工場より買入れているEmpire. 種であつて、他品種及び退化系統の混合が見られるので、他の有望と見られる品種との比較を行い、適良品種を選定する。

2. 供試品種

	取寄先
a. Empire	工場取寄のもの
b. Empire	国の指定採種圃産
c. Fox 4.	アルゼンチン國
d. Stoneville	"
e. Saenz pena 85	"

——ラコルメナ

3. 一区面積及び区制

1.2a 2区制

4. 栽植時期

9月中旬

玉蜀黍品種決定試験 (経続)

1. 目的 前年の比較試験に於いて、日本品種の豊産であることが知られたので引続き品質収量を調査する。

2. 供試品種

品種	取寄先
在成香川	長野県
長交 202	"
maiz venezuela	STICA.

3. 一区面積及び区制

一区面積 1a 2区制

(7.)

4. 栽植巨商
1.5 X 0.7 m.

陸稻適良品種選定予備試験 (経純)

1 目的 米食依存度が高いので水利に恵まれない農家のために陸稻の適良品種を選定する、尚前年の試験に於いては高温乾燥のため収穫皆無に終つたが今回は光線を制限し土壤水分を比較的豊にする条件下に於いて — 間作栽培 — 比較することとする。

2 供試品種

品 種	取 寄 先
Bolivia 在米品種	San Juan, Bolivia
在米品種	フラム
農林 12号	アルト、パラナ
農林 15号	茨城県農事試験場
農林 22号	"
農林 24号	"
関東 66号	"
ハタゴガネ糯	"
農林糯 1号	"
" 4号	"
" 20号	"
" 26号	"

3. 間作条件

mandioca の間作とし
mandioca の畦巾 1.5 m の間に 1 畦の陸稻
3.0 m " 5 畦 "

4. 供試面積及び区制

畦長 12 m 畦巾は各試験区とも 50 cm

5. 播種期

9 月上旬

葉煙草品種特性調査並に展示

1 目的 棉と同様つばき資金確保上、葉煙草栽培希望者のための展示を行う。

2. 供試品種

品 種	取 寄 先
a. misionera (ニコタン用)	STICA
b. T. fuerte	"
c. 阿波葉	日本茶野
d. Bright yellow	"
e. 達磨葉	"
f. White burley	"

3. 供試面積及区制

0.48 a 2区制

Kenaf Jute の比較試験

1. 目的 *Bolsa* 用として生産、加工、折衷労力等より優劣を比較する。

2. 供試品種

品 種	取 寄 先
<i>Kenaf</i> 南方型	フラム農場
" 北方型	"
" 北米産	<i>La colmena</i>
" <i>Haiti</i>	"
<i>Jute</i> ホリビヤ産	<i>Sau Juan Bolivia.</i>

3. 供試面積及区制

1 a 当 2区制

4. 栽植密度

畦巾 50 cm とし 1 m 間 15 本建 (条播とし生育初期に間引く)

樹木の試験及び展示用苗の養成 (新規)

1. 目的 移住地の前途に伴い用材、薪炭用及び水源確保のためばかりでなく、温和なる気候保持のため植林の要あり、これに関する試験を実施するに先立ち各種樹木の苗養成を行う。

2. 苗養成の樹種と本数

樹種	取寄先	養成本数
パラナ松	Argentina misiones	30本
ユーカリ	"	10,000 "
琉球松	日本	1,000 "
カラタチ (柑橘台木用)	Argentina garaape	第2年 700本
	Lapachal	第1年 4,000 "

大豆適良品種選定試験 (経緯)

1. 目的: 大豆は当移住地の歴史的作物となっており多収高含油、収穫時の耐湿性(雨に出合った場合に細菌被害の少ない性質)品種が要求されている。前年夏播種期を3回にして栽培し春播種期に於ける諸特性を調査した結果より有望とみられる品種を供試し、その中より適良品種を選定する。

2. 供試品種

品種	産地
早生 3号	Fram, Paraguay.
" 4号	"
中生 1号	"
中晩生	"
晩生	"
晩生 (中舌味)	"
Avaré	STICA.
L 571	"
49-5-103	"
Abura	"
Nayas	"
Acadian	"
Eopiece	"
Sin nombre	"
Columena I	Columena
Columena J	"
Abura	Brazil.
Aranga	"
Aranga, Tubá	"
Eng, Brachal	"
Maglana 411	"

Mogiiana
Pechano

Brazil

3 播種期

11月5日 , 11月25日 , 12月15日.

4 一区面積及区制

0.36 a (12m x 1m 3畦) 2区制

Yerba の栽植と其の同作展示 (新規)

1 目的 Yerba と其の同作方法とを展示すると同時にYerba 圃の所要労力及び収量を調査して収支を明らかにする。

2. 試面積
1 ha.

3. 依作方法

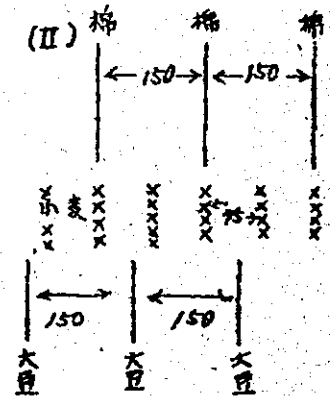
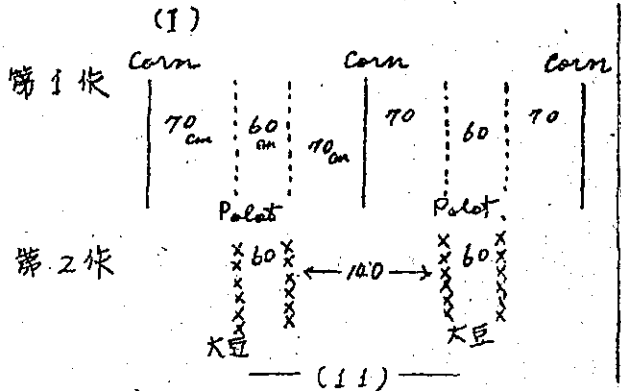
Yerba 4 x 4 m
同作 mandioca

Yerba より 1 m を隔ち、1 m の畦間にして 3 條、株間 0.8 m.

土地高度利用の展示 (新規)

1 目的 永年作の依作が進み且つその同作可能面積の減少する場合には少面積よりの多収を図らなければならぬ。それに具へて土地高度利用の展示を行うと同時に所要労力及び生産量の調査をなす。

2. 依作様式



3. 供試面積

2ha (將來の果樹類試験圃場を利用)

移住地内土壤生産力予備調査

1 目的 移住地内に於ける植生及び、林相の相異と土壤生産力との關係を調査し、ロツテ選定上の參考に資する。

2. 実験方法

(1) 供試土壤

a. 煙草草の生育良好な土壤

b. モンテパイン "

c. 樺性林相の土壤

(2) 供試作物 小麥

(3) 実験方法

供試土壤を5万分の1ポットに詰め土壤水分を容水量の60%に保持し、これに生育した、幼植物の生育狀況、乾物量より、土壤生産力を判定する。

種苗増殖配布事業

Ramie の増殖

- 1 目的 Ramie の生育は良好であり他作物に比して管農上有利と思われるので、今後採織事業の南段に具へて坂根による増殖を行う。
- 2 増殖品種及び増殖面積
東織1号 30a
東織2号 25a

Kenaf の増殖

- 1 目的 糸織用として且亦今後 Balsa 用としても有望であるので種子配布を行う。
- 2 増殖品種及び増殖面積
南方型 ケナフ 10a
北方型 ケナフ 10a

牧草類の増殖配布

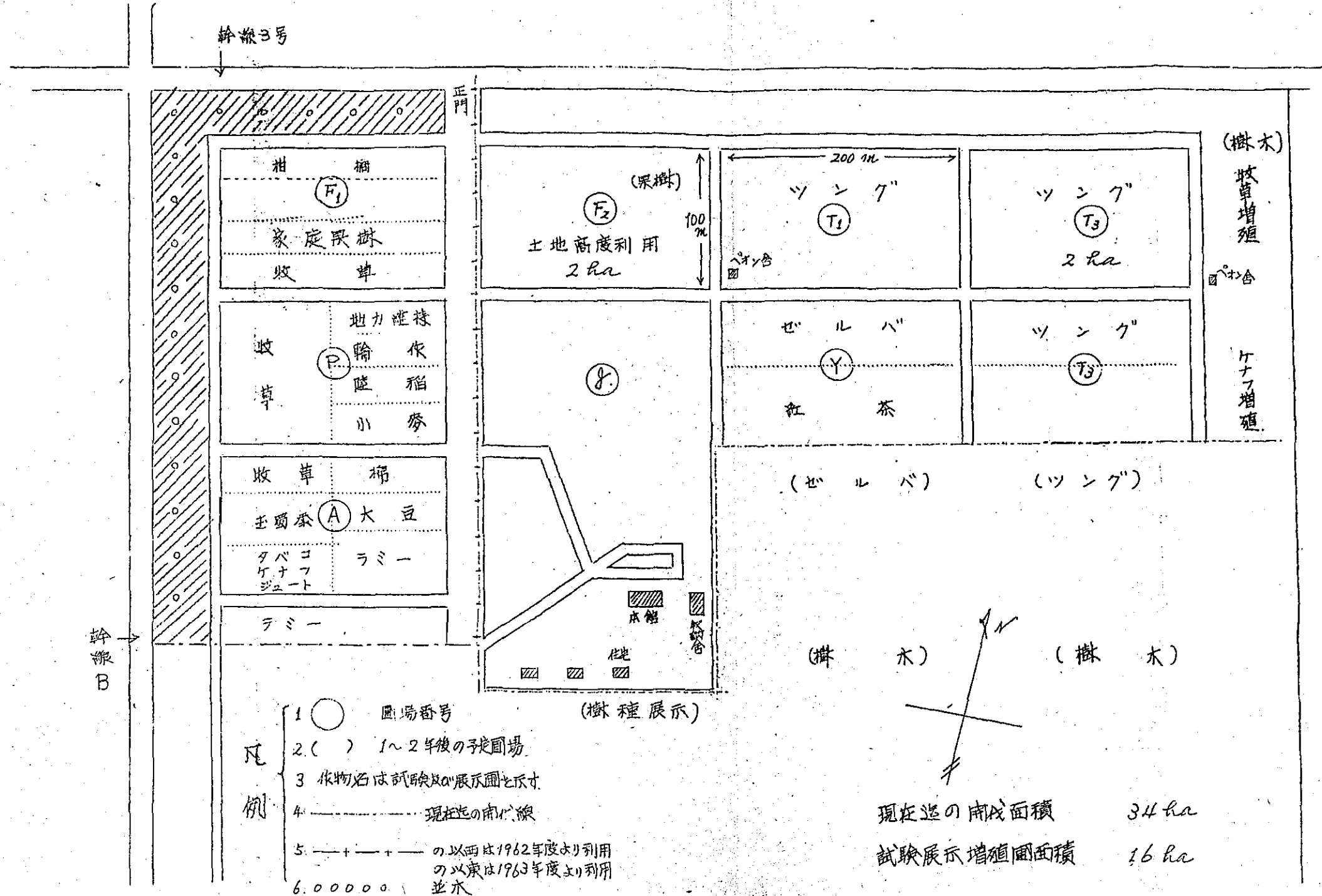
- 1 目的 管農計画の進展に伴い放牧用、刈取給与用牧草の増殖を行う。
- 2 増殖牧草の種類及び増殖面積
放牧用 Past grama (*Dontolona gracilis*) 10a.
刈取用 Alfalfa (*Medicago sativa*) 5a
Vicia sativa (Common vetch) "
Vicia villosa (Hairy vetch) "
Vicia obura "
Pasto elefante (*Pennisetum purpureum*) 10a.

其の他作物の増殖配布

Lemon grass

- 1 目的 大豆収穫、堆積敷履用として利用す。
- 2 増殖面積 20a.

イタプア地区指導農場, アルトパラナ農場試験作物配置略図 (1963)



1963年度官農指導計画

(カルトパラナ地区に対して)

1. 指導組織の強化

(1) 官農関係連絡員制度の策定

各村に感の鋭く、官農に明るく、情報の集めやすい者1~2名を選定、官農連絡員を委嘱し(農場長、組合長の連名委嘱)技術的、経営的に見たロツテの現況、推移、又病虫害発生等の緊急事及び農家の望んでいる事項を通達連絡せしめる。

今年度は、予算枠の関係から、村長をその任に当らしめこれに補助員を訓練養成し将来は組合関係に官農指導員制度が設けられるように持つて行きたい。

これら指導員から取れた情報を一応の基礎として事態を少しやく、官農通信を発刊して、時期に即応した適切な指導を行うこととする。

(2) 部落別懇談会 (20~30戸村毎)

農家の至営技術及び生活改善等の習得向上を目的とし定例的に3ヶ月に1回開催することとする。

これにより集団的に個々の農家の実態を把握し、個別指導に準じた指導が出来る。この会合は主として農場及び兼業所が当る。

(3) 林懇談会 (30~40戸)

村民の健全なる官農生活向上、のみならず健全なる組合経済の運営を期するを目的として村民、組合、専業団が一体となり、研究討議するものとする。

組合より、組合長、専務、各係主任。専業団からは各担当指導員が参加、専業団、組合の計画をのべると同時に村民からあらゆる一切の相談を受け、よろす相談所的のものにし、専業団、組合、村民が絶えず一体となつていくよう計りたい。

3ヶ月に1回開催し、主として組合がこれに当る。

2. 指導目標

(1) 1960年度入植者に対して

1. 1960年度入植者は本年をもつて、一応自給体制を確立する様指導する。

ロツテは好景気にあることからその代々は順調に進んでいるが、セルバの導入は遅れているので、その代々を促進させる。ハ牛の導入を能力に応じ督励、パストの植体が遅れている者に

は促進完了せしめる。
ニ適短期作物の技術指導
ホ管農設計をつくる基礎知識の習得

- (2) 1961年度入植者に対して
- イ自給体制の指導強化、
 - ロツンク及びセルバの依付督励、
 - ハ生活指導
 - ニパストの造成促進、本年度を以つて完了せしめる。
 - ホ稻の導入督励
 - ハ管農設計をつくる基礎知識の習得

- (3) 1962年度入植者に対して
- イ自給体制の指導強化、特に稻マンジョカの導入督励。
 - ロ家庭用果樹苗の導入、パストの導入を積極的に推進。
 - ハツンク又はセルバの依付促進督励。
 - ニ生活指導
 - ホ豚の経産導入、本年度に於いて完了。
 - ハ当國に於ける農業経営に対する考え方の指導。

- (4) 1963年度入植者に対して
- イパ國農業経営のあり方の把握指導(具体例を通じて)。
 - ロパ國における生活のあり方指導。
 - ハ自給体制の確立及び家庭用果樹苗の導入督励。
 - ニ線、豚の導入督励、本年度に於いて導入完了。
 - ホ永年作物依付準備の督励(南畑5〜842まで)。

(ブラム及びチバス地区に対して)

管農指導目標はアルトパラナ同様、永年作物、牛の導入を経産督励する。

1. 指導組織の整備統一
 - イ農業講習所卒業生を中心とした4Hクラブ活動。
 - ロ作物、家畜別の研究会を持ち、農協内に各担当員を置く。
 - ハ婦人部活動の強化、生活改善。
2. 機関紙の発行。
管農月報又は、四季の農業。
3. 管農実績台帳の作成

農家家計表、作業日誌記帳の督励。

4. 濃産指導

不振農家、不振地区の摘出を行い、それに対する改善策を樹立し、指導する。

5. 1963年度指導目標

- (1) フラム地区に対して
 - イ. 自給体制の整備、
 - ロ. パスト、牛の導入督励
 - ハ. 畜力利用の指導、
 - ニ. セルバの依体督励、
 - ホ. 短期作物の削減指導
 - ヘ. 豚肉の加工利用、

(2) シヤバス地区(都市近郊地区)に対して

- イ. 集団栽培地域の設定、
計画栽培の指導、
- ロ. 地力衰退にともなう施肥の指導
- ハ. 計画出荷の指導、

6. 組合指導

入植4年以上を経過した本地区に於いては、組合員間で階層の分化が生じ始め、優秀農家は組合から商脱して行く傾向がみられる、かゝる事情を分析し、農家のあり方を検討すると共に、組合の性格をより認識せしめる要が生じて来た。

指導内容

- (1) 組合員の教育 ----- 組合員に対して。
- (2) 農協の運営分析 ----- 組合に対して。

月別	指導事項	到達目標	推進方法				備考
			対象	手段	場所	準備 担当者	
4月	マンジョカ苗の貯蔵 小麦播種の指導 大豆の収穫指導 各作物の除草	各戸2~3kgのマンジョカを収穫出来るよう苗を確保貯蔵せしめる。 水の出にくい者は、小多と小面積を作り、米の代替となし自給体制の確立を促進させる。 雨とあてない振収穫させる。又収穫適期を指導する。 雑草結実の時期である。当月に除草を行う事の意義を知らしめる(4月上旬)	1963年度入植者 1962年度 全戸 全戸 全戸	農改、農場トラック 管農通信 部落懇談会 管農通信 "	農場、既入植者、近陽コロニヤ 部落集会所	マンジョカ苗の貯蔵方法についての管農通信発行 管農通信発行	管農通信発行済 "
5月	家庭用果樹苗の導入 ユウカリ、アメリカ松の導入督励 パストの造成 タバコの播種 ツング種子の調達 セルバ定植指導 水田造成の督励	各戸0.1ha位の家庭用果樹を調査、定植押木する。 防風林、風致、将来のパルメ用材を栽培し必要量を育苗する。育苗指導。 各戸平均2.0ha~3haのパストを造成する苗をどう入さす。 優良種の導入、当国に於ける栽培方法の調査、収穫、飼料方法の合理化の研究 本年度播種分種子の調達 定植方法の指導、マンジョカが尚木として有利であることの認識を高めさせる。 水田開田可能者については、自給用だけでも極力開田させる。	1963年度入植者 1962年度 1960年度入植者 1961年度 1961年度入植者 1962年度 タバコ栽培者 1960年度入植者 1961年度 1962年度 全戸	農改、農場トラック 部落別懇談会 農改、農場トラック 実地、集研 農改、農場トラック 部落別懇談会、管農通信 部落別管農懇談会	近陽ドイツ人移住地 部落集会所 近陽ドイツ人移住地 ヒラホクヤ会社セルバ園近く タバコ耕作者宅 バビスタ Laurena- -cheagu チンバヌ石橋氏 その他3ヶ所 部落集会所 部落集会所	○部落別懇談会に於いてその必要性を説く ○苗物のあり場所を採じて置く ○カールアップ農場長より育苗、接木の指導を受ける………職員 ○組合に種子を調達させる。 ○育苗の仕方をカールアップ農場長より指導を受ける ○部落別懇談会でその導入の必要性を説く。 ○タバコ栽培方法に関する管農通信発行 ○優良種供給場所の調査 ○タバコについての市場性についての確証、販売ルートの確認 ○組合よりその必要性を説かせる。	
6月	豚の介懐について	冬期、豚が介懐する時、凍死させる恐れがある。又ビタミンカルシウム不足のため介懐後腫れ出しになり易いので冬期介懐を避けるよう指導する。	全戸	部落別管農懇談会 管農通信	各部落集会所 実地	各部落で本月介懐しそなた農家を遠征しておく	

月別	指導事項	訓 着 目 標	推 進 方 法				備 考
			対 象	手 段	場 所	準 備 担 当 者	
7月	第1期作, 作付準備の督促	油桐, マイスの作付場所の新焼を促進 完了す。又 作付作物の種子準備す 。	全 戸	組合より督促される		各作物の栽培方法の普及通信	
8月	第1期作物, 作付 督促	ソノテの外 第1期作物 (マイス, 水稻陸陸, マンゴカ等)の管農 計画に沿った面積は少くとも作付すよう 督促。 1960, 1961年度入植者は入植3年乃至 2年の経験を生かし, 各自の管農計画 が策定出来るよう, 基礎知識を与える	全 戸 1960, 1961 年度入植者	全 上 部落座談会	各部落集会所	組合と本年度作付計画について協議 管農計画, 記入用紙の 作成	
9月	新移住者の既移住地視 察 本年度の管農設計 について 青年部, 婦人部の既入植 地視察。 第1期作物の管農 作付	1月以降の新入植者に当国における管農の あり方を理論とともに, 目で見て実際に把握 せしめる 8月のものと同様 婦人部(17K婦人部)にはドイツ人移住地におけ る, 生活, 住居, 婦人の位置を主として見学させ 開拓者偏りのあり方を判断する資料を与える。 本月に2期作の作付を完了させる	1月以降の入植 者17Kに於いて 8月に出来た ために於いて アカラジヤ 17K婦人部 全 戸	農場トラック 8月と同様 農場トラック 組より督促さ せる	オエナウ, ベラビスタ, オブリガート, フラム, アペレア 8月と同様 オエナウ, オブリガート, ベラビスタ	組合と日程を各入植者に通 知させる。 8月と同様 組合より日程を通知させる。	
10月	本年度準備並に採種 始 棉の作付	最低管農計画に沿った面積は作成する 永年作物収穫おぼまでの, つがき資金として植 林を行う, 1ha 1tの収穫を稼ぐこと, 昨 年の反畑を行う。	全 戸 全 戸	部落座談会 上記部落座談 会の折	各部落集会所 全 上	組合と部落座談会開催の日程 を提出, 各部落にその旨を通知させる。 組合より棉の優良種子をおつせん配 布させる 一 済	

月別	指導事項	到着目標	推進方法					備考
			対象	手段	場所	準備	担当者	
10月	春季除草の督励 本年年度の管理設計について	雑草発芽の時期である 当月に除草を行う等の意義を説明する。 9月のものと同様。	全戸 9月に出来たか 7月のに対して	部落座談会 9月と同様	前記場所 各部落集会所	9月と同様		
11月	本年入植者本建築 第2期依体準備	住居、倉庫の建築 山崎伯の新焼、築地を本月中に完了	本年入植者 全戸	組合より督励 全上				
12月	短播理の督励 水稻依体の督励 第2期ライス依体督励	本月一杯に播種を完了するよう督励、遅くとも1月10日までは終了させる。 水稻依体可能地を持つ人には、1戸当り2-5反歩の依体を行うよう督励。 本月一杯に播種を完了するよう督励	全戸 " "	部落座談会 " "	各部落集会所 " "	1962年度播種にかんじての試験成績を教材とする。		
1月	先進移住地視察	1. ツグの除根工程について研究する。 2. 牛の飼養管理について研究する。 1. 豚、鶏の処理方法について研究。 2. ドイツ人官農計画のシンズイを探る	1960年度入植者 1961 "	農場トラフ 全上	オナウ、オガリント -バラビスタ 全上	ドイツ人移住内の優秀農家を選定しておく 同上	農場職員内 左上	
2月	先進移住地視察 夏期除草の督励	1) ドイツ人官農計画のシンズイを探る。 2) ドイツ人の自給態勢の仕方について研究。	1962年度入植者 全戸	全上 組合に督励せぬ	全上	全上		全上
3月	セルバ種子採種 本年入植者の豚の導入開始 冬依の準備	官農計画に沿った飼養と植林の督励、その種子の採種 在来種の優良なもの1戸5頭位導入させる。 冬依の依体選定、冬期における依農計画、について研究する。	全戸 1963年度入植者 1962年度入植者 1963年度入植者	組合トラフ 組合にておっせ んさせる。 部落座談会	ヒラボセルバ園 部落集会所	セルバの播種、育苗にかんじての官農 通信選刊、基本知識を導入させておく 農場における冬依試験成績書 をまとめる。		

